

## 【事件事例】

平成29年7月、茨城県銚田市冷水海岸沖において、カヌーを漕いでいた男性が疲労困ぱいとなり漂流していました。不審に思った海岸からの目撃者より、救助要請があり、男性は海上保安庁巡視艇に救助されました。【救命胴衣着用無し】

## 事故防止のために

### 複数カヌーでの行動

単独での行動は控え、複数のカヌーでの行動を心がけましょう。海へ出る前に沈脱・ロールなどのスキルを確実に習得したうえで、経験者と一緒に行動しましょう。

### 船体特性の把握

カヌーにはシーカヤック、リバーカヤック、シットオン・トップカヤックなど、様々な種類があります。耐航性など船体の特性を把握し、用途に合わせ使用しましょう。

### 気象海象の確認

カヌーは気象・海象の影響を受け易いため、最新の気象・海象情報を入手しましょう。

### ライフジャケットの着用

万が一の事故に備え常時着用しましょう。カヌー専用品も販売されています。

## ●「海の安全情報」～最新の気象・海象情報を入手するために～

海上保安庁では、インターネットや電子メールで全国各地の灯台などで観測した気象・海象の状況、気象庁が発表する気象警報・注意報をはじめとした、海の安全に関する情報を提供しています

「海の安全情報」携帯電話用サイト  
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>

「海の安全情報」スマートフォン用サイト  
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>

「海の安全情報」緊急情報配信サービス  
<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



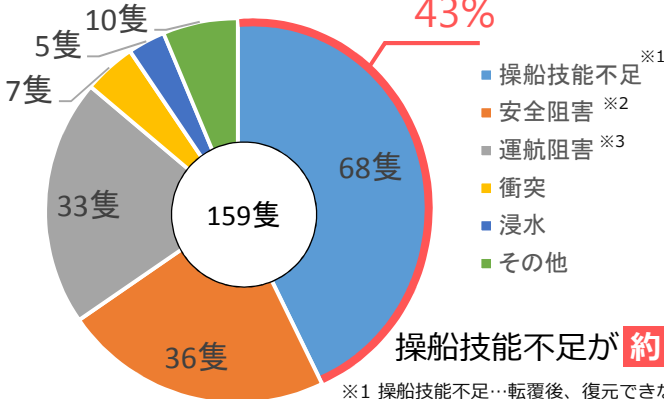
気象警報・注意報の例



スマートフォン用サイト

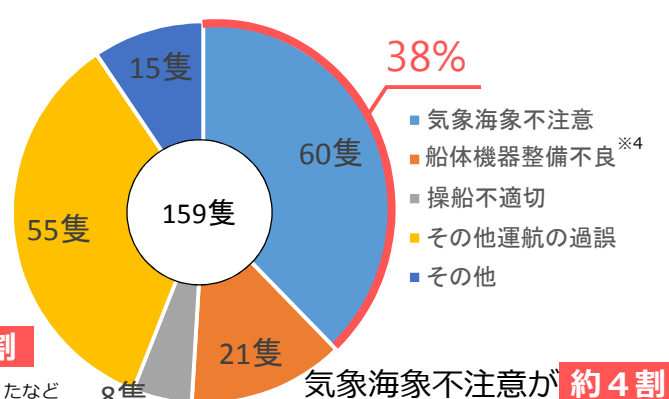
## 過去5年におけるカヌー事故

### ○ 事故の種類



※1 操船技能不足…転覆後、復元できなかったなど  
 ※2 安全障害…荒天による航行不能など ※3 運航障害…オール喪失、無人漂流など

### ○ 事故の原因



※4 船体機器整備不良…係留不備など